

佳作 僕の自転車



ヨンドン プレブダワー
YONDON PUREVDAVAA
国 籍 モンゴル
職 種 建設機械施工
実習実施者 有限会社武蔵サービス
監理団体 九州ネット協同組合

二年まえから日本に来た僕は、会社から自分の乗り物として自転車を会社からもらいました。それは、僕が子供のころからずっと欲しかったものでした。僕にとって自転車に乗って走るの小さなころからの夢でした。日本に来て分からない事がいっぱいあって、わからない場所がいっぱいあって、自分の自転車で行くことを楽しみにしていました。一番気になった事は、自転車が走る道がすごくきれいな事でした。モンゴルであれば、道があってもとても危ない道が多いので乗る事ができませんでした。日本では、自転車でもどこにでも行けるし、安全なのでとても嬉しいです。会社に自転車で行ったり、買い物に行ったり、あそびに行ったりしてとても便利です。多くの日本人の人々は、子供のころから自転車に乗っているので、健康的なのかなと思いました。ある時、タイヤがパンクしたけど、自分で治せるようになる必要があるかなと思いました。雨の日にタイヤがパンクして、走りにくかったので、2回か3回くらい危なかった事があったので、注意して行かないとダメだと思いました。でもこれは、いい経験になりました。自転車をいつ

も乗る中で、自転車を走らせるにも、いろいろなルールを守らないといけないと知りました。本当に車と同じようなルールなんだと知らされました。僕は、2年以上一緒に生活してきたこの自転車ともうすぐお別れになると思うと少し寂しいです。もしモンゴルに持って帰ることができれば持って帰りたいです。しかし、そうすることは出来ません。なので、モンゴルに帰ったら、日本でためたお金で自分の自転車を買いたいと思っています。昔、子供の時一度だけお父さんに買ってもらった事があるけど、今度は自分で買えるのでうれしいです。この作文を書いている時も、考えるととてもたのしみでしかたありません。それと、今まで日本に来てから学んだ事が山のようにたくさんあります。僕の自転車からも、多くの事を教えてもらいました。いろんな道も覚えました、いろんな人と出会いました、僕の大切な自転車には、これからも長生きして欲しいと思っています。新しく入ってくる実習生の事もよろしくお願いします。今までありがとう、僕の自転車。僕のヒーローでした。